

解答

一

問一 「効率」と「容易さ」が向上した。

問二 映像メディアは具体的な像を音声つきで与えてくれるため知識の増量が容易で迅速であるが、想像の作業が不要なため脳が活性化せず智慧が発達しないという点。

問三 現在のようにＩＴが発達した社会では、智慧の多寡が人間の価値を決め、また智慧は人生を楽しく豊かにする意味を持つものである。

問四 イ

問五 ア

問六 A イ B エ C ウ D ア

問七 (ア) 活字 (イ) 習得 (ウ) 尊敬 (エ) 成績 (オ) 親身

問八 イ

二

問一 ア

問二 イ

問三 ウ

問四 周りの人にお兄ちゃんと比較されてすねてしまい、劣等感を抱えて自分自身を大切にできなかったから。

問五 周囲を気にしたり惑わされたりすることなく、自ら自分の進む針路を決めるという決意。

問六 一 イ 二 エ 三 オ 四 ウ 五 ア

問七 A イ B エ C ア D ウ

問八 イ

解説

一

問二 映像メディアの特徴が、二十四行目以降の二段落にわたって書かれています。文字メディアで得られていたものにも触れてまとめます。

問八 本文の八十三行目に着目します。「つまり問題はその人間が重要な現象に眼を留められるかどうかであり、注意を惹かれるかどうかなのです。」という記述内容から選択肢イが正解であると考えられます。

二

問五 傍線部の直前に「おじいちゃん」の手紙を読み終えた後の海生の気持ちが生が記述されています。「風」という言葉で「周囲」を表現していることをおさえつつ、決意に該当する部分をまとめます。

問八 本文全体を通じて自分が大切な存在であることが述べられています。また一四〇行目の「おまえは、おまえなんだ。自分以上でも以下でもないおまえ自身を――大切に、生きていけ。」という具体的な記述もおさえましょう。すると「かけがえのない自分の存在に気づく」という選択肢イが正解であるとわかります。